

## 【開催報告】 医務職組合役員のための情報交換会

「医務職組合役員のための情報交換会」を下記要領で開催しました。

日 時：2022 年 11 月 19 日(土) 13 時～ 16 時

開催方法：オンライン Zoom

参加組織：UBE 労働組合（幹事）、キッコーマン労働組合、  
トヨタ自動車労働組合、パナソニック健保労働組合

参加人数：16 名（事務局含む）

本会は、製造業を主たる事業とする企業やその健康保険組合が運営・経営する病院の組合役員の皆さんが、普段の活動の問題意識を共有し、交流する機会として企画されました。いずれの組織も第 30 回共同調査（ON・I・ON2）で自組織のデータを把握しており、組織によっては医務職のみに限定した、量的なデータとの比較も行ったうえで、質的な情報交換を行いたいという希望がありました。UBE 労働組合に幹事をお願いし、正会員を中心に数労組に声をかけたところ、「同じ環境に置かれた労組と交流する機会がなかった」という状況が共通しており、関東・東海・関西・中国地方の 4 組織から参加の意向がありました。

当日のプログラムは、幹事である UBE 労働組合病院支部の役員の皆さんと事前に打ち合わせをし、現場に即した議論となるよう組み立てられました。事前打ち合わせには、顔合わせも兼ねて参加労組の担当者も出席されました。打ち合わせ段階から議論が行われ、普段の問題意識の高さや、本会への期待が感じられました。

当日は、日々現場で働く医務職役員を含む 16 名が参加しました。同じ病院といえど、各組織の置かれている環境はまったく違い、冒頭でそれぞれの自己紹介

や経営体制を紹介、その後、各組織からテーマを出し合う形で 4 つのパートに分け、意見交換が行われました。第 1 パートでは、昨今、他産業・他職種でも共通してみられる組合や会社への低関与が問題となり、上司のマネジメントや評価制度、ワーク・モチベーションのバランスなどに課題感を持っていることが共有されました。第 2 パートでは、製造業というまったく業種の異なる会社の事業方針に病院として貢献できること、反対に、全社の方針をどのように病院に落とし込むかという具体的な議論がなされました。どの病院でも悩みが共通しており、参加者がお互いの話に深くうなづく場面が何度もみられました。第 3、第 4 パートでは、定年延長や労働条件などについて情報交換が行われました。

初回ということで交流にウエイトを置くこととしながらも、1 回で終わらず複数回実施したい、個別に連絡先を交換して交流を続けたいなどの要望もあり、盛会に終わりました。幹事をお引き受けいただいた UBE 労働組合からは「医務職に特化した複数の労働組合による情報交換により、病院の課題やそれに対応する組合活動について、より深い情報交換を行なうことができました。とても有意義な取り組みであると感じています」という感想をいただきました。研究所としても、研究所や共同調査がプラットフォームとなって労働組合がつながれるということを実感するとともに、共同調査の範囲内ではつかみきれない、個々の役員が必要としている情報がたくさんあると感じました。次回は来年度を予定しています。参加された皆様、ありがとうございました。

本報告をご覧になられた皆様も、個別に意見交換をしたい問題意識があればぜひ研究員までご連絡ください。

